



# 本のかんづめ

平成24年9月号  
山田中学校図書館

夏休み明けのテストも無事(?)終わり、青峰祭まで1ヶ月を切りました。本番はどんなハーモニーが聴けるかな？楽しみです。



## 本の返却について

夏休み前に借りた本、もう返しましたか？  
まだ読み終わっていない人は、予約が入っていないければ再度借りることができますので、一度返却手続きをしてください。返却期限はきちんと守りましょう。  
また借りた本を書架に戻す際は、必ず背表紙の分類番号を確認し、番号順にしまいましょう。  
行方不明の本を出さないよう、ご協力をお願いします。

## 特集コーナー



9月17日は敬老の日。  
でも「老」という字を用いることがためられるほど、近頃のお年寄りたちは、元気、元気！  
本の世界でも、元気なおじいちゃん、おばあちゃんが大活躍。  
迷う若者たちを、その知恵と経験で導いたり、自らの老いをもって生きる意味を示したり。  
今月は、そんな人生の先輩たちに敬意を表した特集、「亀の甲より年の功」です。

### 『ラストラン』

角野栄子 著（角川書店）



74歳のイコさんが「残された人生でやっておきたいこと」は5歳で死別した母の、岡山の生家までのバイク・ツーリング。たどり着いた古い家でおかっぱ頭のやせた女の子に声をかけられた。しかもイコさんにしか姿が見えないらしい!?

### 『おじいちゃんは水のおいがした』

今森光彦 著（偕成社）



琵琶湖に注ぎ込む川のほとりで、「田舟」という木船と長い竹の棒だけで漁に出る田中三五郎さん。食べる分だけ捕る「おかずとり」漁。琵琶湖からの水は、すべての生き物たちの水。自然の恩恵を受け、質素だけど豊かな暮らしを写しとった写真絵本です。

### 『うふう詩集』

まどみちお 著（理論社）



童謡「ぞうさん」の作詞家が御年98歳の時に刊行された詩集。最近の「うふう」はチョコレートを見たときだとか。その感性と言葉のみずみずしさ、うらやましい…。

### 『三匹のおっさん』

有川浩 著（文藝春秋）



三人の「アラウンド還暦」が私設自警団を結成して大活躍。胸がスカッとします。そういえば赤の他人にも悪いことは悪いとはっきり言える雷おやし、最近見かけなくなりましたねえ。続刊もまもなく配架します。

## 読書の秋、本を読もう

図書委員会で決定した目標です。